

SGECプロジェクト認証を取得した道の駅 「おとふけ なつぞらのふる里」

音更町林業係 鈴木 英宣



■はじめに

2022年4月15日、音更町内に「道の駅 おとふけ なつぞらのふる里（以下、道の駅）」がオープンしました。構造材にSGEC認証材を使用し、プロジェクト認証を受けた建築物としては道内4例目となります。4月25日には、札幌市で開催された「SGEC/PEFC森林認証セミナー in 北海道」において道の駅の概要が紹介されました。

表題：道の駅おとふけにおけるプロジェクト認証の取得について

演者：音更町農政課林業係係長 鈴木英宣氏

道の駅としては日本初となるプロジェクト認証を受けたこの建築物について、鈴木氏のご講演内容に基づき紹介します。（文責：普及協会・菊地）

■認証取得の経緯

十勝では、2010年代半ばに「とから森林認証協議会」がSGEC-FM認証、SGEC-CoC認証を取得して認証材を供給する体制が生まれ、その活用に取り組んできました。このような地域的背景のもと、道の駅の整備・運営を担う公募プロポーザルで選定された実施事業者（ヴェスタおとふけグループ）から認証材利用の提案がありました。この提案を受け、道の駅に使用する木材については可能な限り地元材を利用するとともに、認証材の普及を図るためSGECプロジェクト認証を取得して道の駅の建築を進めることとなりました。

道の駅の基本構想策定からオープンまでの大まかな経過を表1に示します。

■建築物の概要

建築物および使用されている木材の概要を表2に示します。主要構造材はSGEC認証を受けたカラマツ集成材（写真1）となります。なお、道の駅は道の駅建物本体、NHKの連続テレビ小説「なつぞら」をイメージしたなつぞらエリア、ドッグランや築山を設けたなつぞら公園、都市間バスの乗降場を設けたパークアンドライドおよび駐車場からなっています。

表1 道の駅オープンまでの経過

時期	項目
2014年5月	魅力発信施設基本構想の策定
2016年6月	基本計画策定準備検討会の設置
2019年5月	公募プロポーザルによる実施事業者選定
2020年3月	実施設計を完了
2020年6月	建築工事着手
2021年3月	SGEC 第1段階審査
2021年5月	SGEC 第2段階審査
2021年7月	SGEC 認定書発行
2021年12月	工事完了
2022年4月	認証書授与式、オープン

表2 建物の概要および使用木材

項目	概要
建築物の構造	木造一部鉄骨造平屋建て
床面積	1,960.6m ²
使用木材	SGEC 認証材（カラマツ集成材） 81.703m ³
	その他（カラマツ KD 材） 24.954m ³
認証番号	SGSJP-W161
認証名称	建屋構造材部分認証プロジェクト



写真1 SGEC認証を受けたカラマツ集成材

今回の認証は、建築物全体ではなく、主要構造材に特化したものとなっています。認証プロジェクトのメンバーは音更町と施工業者である「宮坂・村上・ジオックス特定建設工事共同企業体」となります。音更町がプロジェクトマネージャーを担い、原料（原木）の調達および由来の確認を行い、共同企業体が材料の出入庫、製品の入荷、識別管理、記録保管を行いました。認証材の加工工程を表3に示します。原木は、音更町有林の50年生カラマツ認証林から調達しました。

表3 認証材の加工工程

工程	担当 (認証取得団体または認証番号)
原材料	音更町 (とちぎ森林認証協議会)
伐採・運搬 ラミナ生産	十勝大雪森林組合 (とちぎ森林認証協議会)
集成材生産	(協) オホーツクウッドピア (北見地方 SGEC ネットワーク)
プレカット	(株) よつばハウジング (SGSJP-W042)

■ 認証を取得して

プロジェクト認証の取得そしてプロジェクト進行に役場職員として関わり、次のような感想を持ちました。

- ・ 持続可能な森林管理の意義をあらためて自覚。
- ・ 町有林材（認証林材）を使用したことによる、「おらが町の道の駅」意識の向上。
- ・ 研修会や打合せなどを通じた事業関係者の認証制度に対する理解の深化。

その一方で、次のような課題も感じてきました。

- ・ 道の駅建物の環境性能アピールの必要性。これについては、SGECから多様な項目について確認を受けた建築物であることを説明するパネル（写真2）の寄贈を受けました。さらに、認証材の柱や梁の一部は現しとして見ることができるよう構造としています（写真3）。
- ・ 認証取得を円滑に進めるための認証制度に関するノウハウの不足。これについては、先行してプロジェクト認証を取得していた十勝大雪森林組合から多大な支援を受けました。
- ・ 2回の認証審査（写真4）に要する手数料（約60万円）の負担。



写真2 森林認証の仕組みを伝えるパネル 道の駅内の壁に、音更町マップと並べて掲示



写真3 認証材の柱、梁



写真4 SGECによる審査（2021年3月30日）

■ おわりに

道の駅には町有林材を使用した椅子200脚も設置しています。また、なつぞらエリアにはドラマに登場した木外装の母屋や牛舎（表紙写真）等が並び、作品の世界観が再現されています。

一度、道の駅にお出でいただき、音更町による認証材PRの取り組みをご確認いただければ、と思います。